

# 歴史探訪

## クラブ

其の 200

History Inquiry Club



文化財課 ☎22-1720  
(博物館) FAX 22-2028

### 平成から令和へ

和地町の国道42号線沿いにある阿弥陀堂を見学している時に気になるものを見つけました。それは敷地内にある防火水槽の隅に突き出たコンクリートの柱です。見た目は素っ気ない柱ですが、両面に文字が刻まれています。表面に「御大典記念」、裏面に「昭和三年十一月」と柱の面に刻まれています。表面は風化が進み混ぜ込んだ砂が見え、時代を感じさせます。「大典(大礼)」とは天皇



●和地町の御大典記念柱

の即位の礼のことで、今から90年前の昭和3年11月10日、昭和天皇の即位を記念して作られた防火水槽だと分かり、柱はそれを示すために同時に作られたものです。

昭和天皇の大典に際しては、国をはじめ全国各地で盛大な奉祝行事が行われました。田原市博物館にはこの大典の奉祝書類が残っています。その記録によると、当時の田原町(現在の野田・神戸校区を除く)では、各地区で学校・仕事を休みとし、午前には氏神を参拝、祝杯をあげ、午後2時から学校の校庭に集合しました。そして即位の礼が行われる京都方向を向いて整列し、敬礼、国家斉唱、学校長の祝いの言葉の後、万歳三唱で式が締めくくられました。午後6時からは、田原町役場主催

の奉祝提灯行列が行われました。

大嘗祭は、

昭和3年11月14

18日の期間に

行われていま

す。各地区で祝

宴会・投げ餅が

行われ、加治町

では獅子舞奉

納、大久保町で

は仮装行列など各地区で工夫をこら

した余興が盛大に行われています。

また、記念事業として、神社の整備

を行う地区もありました。

旧渥美町では9月に大典記念事業

として、昭和3年渥美町役場(現在の福江市民館)の新築が計画され、

昭和5年に完成しました。現在、市

で残る最も古い鉄筋コンクリート造

の建物です。

和地町で見つけた御大典記念の柱

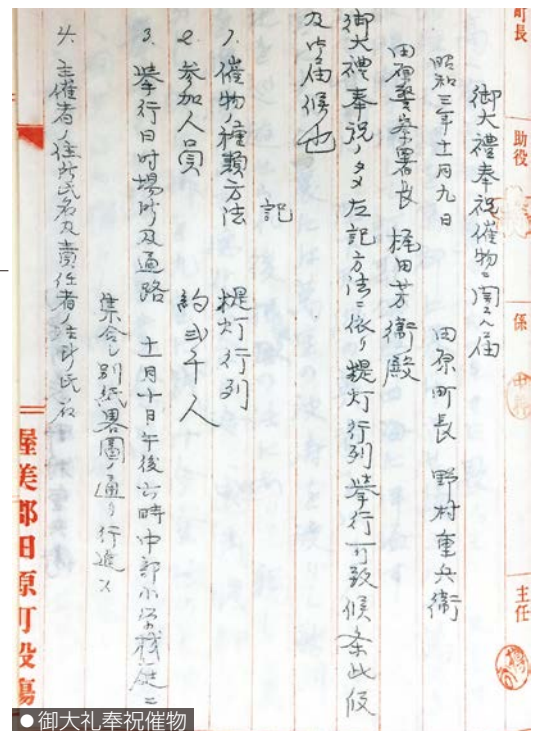
は当時の様子を伝える資料の一つと

いえます。

奉祝行事の参列者は、教職員、生

徒、在郷軍人、青年団員、消防組員、

一般町民と記されています。軍人の



●御大典奉祝催物

記名、式の進行など、その後の日本が戦争への道を進む姿を予感させます。

昭和は戦争に苦しみ国民一丸となって復興を果たした時代でした。そして、平成が戦争のない時代であったことは幸いでしたが、震災をはじめとする災害に苦しんだ時代でもありました。令和の時代は平和で幸せに暮らせるよう、政府が発表した「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」そんな時代をつくっていききたいものです。

※大嘗祭とは天皇が即位した初めての  
新嘗祭(稲の収穫祭)

(学芸員 増山禎之)